

東京都教育委員会では、学校と地域・家庭が連携し、それぞれの教育力の総合的な向上を図ることにより、一体となって子どもの教育に取り組んでいく「地域教育連携推進事業」を実施しています。今回、「東京都教育の日」に関連して、東京都教育委員が、この連携事業を実施している学校等を訪問し活動の様子を視察しました。

教育委員は、それぞれの学校の取組を支援するとともに、都民の方が、次代を担う子どもたちの教育について、より関心を高めるために、学校関係者・コーディネーター・ボランティア等の方々と意見交換を行いました。

## 東京都立大塚ろう学校を鳥海巖委員が訪問

東京都立大塚ろう学校は、NPO法人大塚クラブとともに「地域教育力再生プラン地域子ども教室推進事業」を進めており、学校としても、地域の聴覚障害教育のセンター校の役割を果たすため、「きこえとことば」相談支援センターを併設し、在籍する子どもたちの指導はもとより、早期乳幼児教育相談、0歳児家庭訪問支援、小・中学生の教育相談等の取組、学校公開講座、関係者対象の聴覚障害教育に関する研修会、保育園・小学校・中学校との交流、近隣町会との合同防災訓練等、様々の取組を行っています。

今回は、NPO法人大塚クラブと協力して実施している「土曜クラブ」の様子を見学しました。「土曜クラブ」は、大塚ろう学校を中心に、都内のろう学校や小・中学校の児童・生徒を対象に、英語検定教室、漢字検定教室、算数・数学教室、遊びクラブ等を実施しており、お昼は弁当持参で、参加者・学生ボランティア・地域ボランティアみんなで体育館や中庭で食事をします。

また、平成17年4月から、新校舎で授業を開始しており、「赤外線補聴システム」等を利用した、より雑音の少ない集団補聴システムが設置された教室内を見学しました。



## 東京都立足立新田高等学校を高坂節三委員が訪問

東京都立足立新田高等学校は、地域とのつながりを重視したクラブ活動を推進しており、都立高校としては唯一の相撲部を持つ高校で、全国選抜高校相撲十和田大会出場を果たしました。

今回は、相撲部部員が足立区・文京区などの小・中学生に相撲の指導を行う「わんぱく相撲大会」やサッカー、野球、バレー、バスケット等の部活動の様子を見学しました。

「わんぱく相撲大会」では、子どもたちが、体の大きい相撲部員に挑戦したり、相撲の基本動作を教わったりしました。

また、子ども同士による団体戦が行われ、ちびっこ力士の白熱した取組がみられました。

相撲大会終了後には、相撲部による「ちゃんこ鍋」が、参加者や応援の方々などに振舞われるなど、子どもたちの元気な声が響いていました。

